

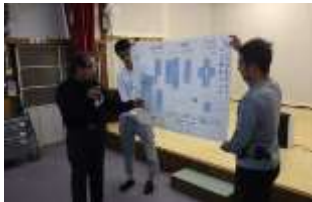






第5回 齋田地区地域座談会報告

日時	平成29年10月12日(木) 19:00～20:30		
テーマ	高齢者の見守り・介護 ～高齢者世帯を見守る仕組みづくり～ 防災・防犯 ～災害時要援護者を見逃さないために～		
会場	齋田集会所	参加者数	17名
<p>第5回座談会では、これまで開催した座談会で課題として挙げられたもののうち、「高齢者世帯を見守る仕組みづくり」と「災害時要援護者を見逃さないために」をテーマとして挙げ、意見交換を行っていただきました。</p> <p>「高齢者世帯を見守る仕組みづくり」については、町内の集まりに住民の参加を呼びかけることから始め、町内の現状把握と情報化を図り、データに基づいたネットワークを作ることにより、課題解決に向けて住民全員で取組める関係づくりを目指そうとの意見が出されました。</p> <p>また「災害時要援護者を見逃さないために」については、要援護者の生活状況や対処方法などについて、民生委員や消防団との情報共有を図り、ハザードマップや防災マニュアルの作成をしながら災害ボランティアの育成(若い世代を中心に役割りを決める)や訓練(地震・火災・水害・停電・Jアラート)の実施を目指そうと話し合われました。</p> <p>両テーマの共通点として、「コミュニケーション」と「若い世代の参加」がキーワードとして挙がり、これから齋田地区が目指すべき道筋が見えてきた座談会となりました。これまでご参加いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。</p>			
			
			
			




第4回 齋田地区地域座談会報告

日時	平成29年9月12日(火) 19:00～20:35		
テーマ	齋田地区の地域コミュニティづくり ～若い世代が地域活動に参加するために～		
会場	齋田集会所	参加者数	18名
<p>齋田地区は、若い人の地域参加が少ないという意見が多かったため、今回の座談会のサブテーマを「若い世代が地域活動に参加するために」として、4班に分かれて意見交換をしていただきました。</p> <p>齋田地区は、以前は子ども会やお祭りなどで世代間交流が盛んな地域だったので、こうした行事を復活させたいという意見が多く挙げられました。また、行事の参加を促すためには、若い世代が興味を持つ様な情報発信の仕方がとても重要であり、SNSやYouTubeなどを活用していくのが良いのではないかという意見も挙がりました。「若い世代の住民に地域活動に参加してもらうためには、まず、子どもたちに参加を呼びかけ、その子どもたちが成長した時に地域の担い手になってもらうよう地域ぐるみで育てていく」、「子育て世代の住民にも活動に参加してもらうよう、小学校と連携・協力して行事や運営を企画することが、こうした参加への足がかりとなる」といった意見も出され、皆さんが共感していました。</p> <p>ここ齋田地区は、PTAとの繋がりが強いので、その強みを活かし、具体的に子どもたちや親世代が地域活動に参加できる(繋がれる)様な企画を考えていき、5年後には、にこやかに地域のことを一緒に考えられる場所や仕組みをつくるという目標を参加者全員と共有できた座談会になりました。</p>			
  			

第3回 齋田地区地域座談会報告

日時	平成29年6月12日(月) 18:50 ~ 20:50		
テーマ	齋田地区の課題抽出 ~困りごとから解決への役割を考えよう~		
会場	齋田集会所	参加者数	21名
<p>齋田地区にお住まいの40代から80代の方々21名にご参加いただき、地域課題を抽出して4つの役割りに分類する作業を行いました。</p> <p>①自分や家族、隣近所では、「子供が少ない。適齢期になっても結婚しない。親の躰が甘い。厳しい環境(困難)を避ける若者が多い。健康面の不安。」②町内、地域住民では、「地域活動に魅力がないため若者の参加が少ない。消防団に若者が入らない。地区内に保育施設・幼稚園・小学校・高校が集中しているので、地域活動とコラボしたイベントを実施すれば活性化する。」③社協では、「介護サービスの充実・指導。有償ボランティア活動の支援。老老介護や認知症・徘徊への対応。」④行政では、「福祉教育の充実。空き家を活用した人口増加への取り組み。移動弱者への支援。一方通行や避難所の表示がわかりづらい。若者が社会参加できる仕組みや仕掛けづくり。無償ボランティアに頼り過ぎている。」といった課題が挙げられました。</p> <p>総合的に、70代まで働ける(働かざるを得ない)現代社会の中で、そうした世帯が地域活動に参加できていないことが課題に結びついているのではないかと感じました。</p>			
			

第2回 齋田地区地域座談会報告

日時	平成29年4月12日(水) 18:45 ~ 20:35		
テーマ	福祉資源マップづくり ~齋田地区の福祉資源を掘り起こす!~		
会場	齋田集会所	参加者数	26名
<p>お忙しい中、齋田地区にお住まいの40代から90代の方々26名にご参加いただきました。</p> <p>初めに、徳島大学の柳沢先生より“福祉資源マップづくり”について説明があり、5グループに分かれて、公共施設や、医療・教育機関・防災、老人会・民生委員・婦人会活動等の福祉資源について意見が交わされました。</p> <p>齋田地区は様々な面で充実しており、バス停も多く交通に恵まれていて住みやすい地域ですが、最近では足袋工場が少なくなってしまい働く場所(拠点)が地区外へ移ってしまったことや、高齢化が進んで介護が必要となった時の資源(介護施設等)が不足していること、避難場所はあるが遠くて不便(高齢者がすぐ避難できるの?)と言った声も聞かれました。</p> <p>齋田地区は、こうした課題を抱えながらも、しっかりと住民活動が根付いている地域であると確認できました。</p>			
  			

第1回 齋田地区地域座談会報告

日時	平成29年3月12日(日) 18:45 ~ 20:15		
テーマ	齋田地区らしさってなんだろう(齋田地区の魅力発見)		
会場	齋田集会所	参加者数	22名
<p>お忙しい中、齋田地区にお住まいの方々にご参加いただきました。</p> <p>初めに、徳島大学の白山先生より“地域福祉計画・地域福祉活動計画”の必要性等についてお話しがあり、ご参加の皆さんにその趣旨をご理解いただいた後で、意見交換がスタートしました。</p> <p>5グループに分かれ、お祭りや、医療・介護、教育等について、雑談を交えながら積極的な意見が交わされました。</p> <p>最後の発表の場面では、「どこへ行くにも近いので生活が便利」、「医療機関や学校がたくさんあるので安心」と言った齋田の魅力”を参加者全員で共有することができ、和やかな雰囲気第1回座談会を終えることができました。</p> <p>この地域・人を愛し、どう遺していくか、10年、20年経っても良い地域と言えるよう『みんなが』考えていきましょう。次の世代のために。</p>			
